

SDGs と新型コロナウイルス

弊社は、みそ・豆乳を製造販売している愛知県の食品メーカーです。ハルナビバレッジ株式会社様には、2004年より東日本の豆乳生産拠点を担って頂いております。豆乳業界は11年連続伸長で、毎年増産のお願いに全面的な協力を頂き、今は当初の75%増の生産量となりました。それだけでなく、2019年には『タニガワプラント蒸気供給共同スキーム事業』を導入され、弊社もその恩恵を享受させて頂きました。加えて2013年、タイに『HARUNA Asia Co.,Ltd』を設立され、その後弊社も進出しアジア向けの新製品開発、配荷等でも大変お世話になっております。

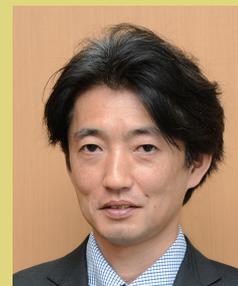
新型コロナウイルスの感染拡大は、世界経済に大打撃を与えました。夏でも衰えず、再感染の報告から、長期戦で本終息は世界の待ったなしの協力が必要と思われま。一方でコロナが克服された時、世界の多くの企業はこの教訓からSDGsの重要性を再認識することになるでしょう。ハルナビバレッジ株式会社様はいち早く積極的に取り組まれており、弊社も大変勉強させて頂いております。今後もハルナビバレッジ株式会社様との強固なパートナーシップにより、共に発展してまいりたいと思います。



マルサンアイ株式会社
代表取締役社長
渡辺 邦康 様

ご意見を
いただいて

この度はご寄稿、誠にありがとうございました。また、2004年より当グループのタニガワプラントにて豆乳事業の生産拠点として、今日まで共に歩ませていただき誠にありがとうございます。ハルナアジアタイランドの販売活動においても、御社との共同開発新商品でのお取組みなど大変感謝申し上げます。新型コロナウイルスの世界規模での感染拡大は、人命や経済に大きな影響を与え、終息に向けての対策により、社会活動も大きく変化しております。そのような状況の中でも御社との強いパートナーシップにより、事業継続をしっかりと進めていき、社会のお役に立てる存在であり続けられるよう努力してまいります。



ハルナプロデュース株式会社
取締役兼専務執行役員 CMO
山崎 敦也

コロナ禍の後に

新型コロナウイルスが人間の移動の自由を奪い、産業の衰退、生命の危機をもたらしています。SDGs（持続可能な開発目標）どころか、基盤の脆弱な企業や国家の崩壊すら予想される事態となりました。

私は、大学生時代に読んだ、カミュの「ペスト」の文庫本を書棚から探し出して、黄ばんだ頁をめくり始めました。病苦の蔓延に立ち向かう医師たちの物語と半世紀の時を経て向き合くと、思い浮かぶのはハルナビバレッジ創業者、青木清志氏の彫りの深い顔と、射るような眼差しです。

62歳にして、榛名山麓の豊富な水と、首都圏に近い立地に着目して起業、86歳の今尚かくしゃくとして、世界を俯瞰し日本の利益のみを追求する政治経済に警鐘を鳴らす。

青木氏とその後継者やスタッフならば、必ずや、コロナ禍の後を見据えて、高崎から群馬、日本、世界に向けて、企業の地域社会の中でのあるべき姿を示してくれるでしょう。



上毛新聞社
代表取締役社長
内山 充 様

皆さまの英知を集め、未来への道を示す“羅針盤”の役割を果たすことが上毛新聞社の責務です。ステークホルダーとして、共に社会貢献の旗を掲げる企業であることの意味をかみしめ、これからもお付き合い願います。

ご意見を
いただいて

この度はご寄稿いただき、誠にありがとうございました。また、常日頃より当グループの事業活動に、お心遣いをいただき大変感謝申し上げます。

新型コロナウイルスにより、日本はもとより全世界で人命や経済に多大な影響が及ぼされ、社会構造も大きく変化し始めてきています。

そのような状況の中でも未来を見据え、事業継続をしっかりと進めていくと共に皆様のお役に立てる存在であり続けられるよう努力してまいります。

今後とも宜しく願いいたします。



ハルナプロデュース株式会社
取締役兼専務執行役員 CTO
古市直也